

2016.9.13 全国大学生生活協同組合連合会「ふくしま被災地スタディツアー」

# 「震災・原発事故と闘う 福島農業の今・そして未来」

ふくしま未来農業協同組合  
営農部直販課 高野 洋

# I. JAふくしま未来の経営理念

時代へつなぐ...

かけがえのない「農」を守り、はぐくみ、住みよい地域社会を築くため、  
新たな創造へ挑戦します！

スローガン

未来への 心をつなぐ パートナー

“農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。

くらしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。

私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、  
誠実・確実に果たしてまいります。

- 一、ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。
- 一、創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。
- 一、豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。
- 一、地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。



## II. JAふくしま未来の概要

### □管内概況

(平成27年国勢調査速報より)

- ❖人口❖ 600,033人 (県内比 31.4% 福島県人口数 1,908,877人)
- ❖世帯数❖ 235,826世帯 (県内比 31.9% 福島県世帯数 738,064世帯)

- ❖管轄地❖ 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市  
伊達郡川俣町、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、安達郡大玉村  
相馬郡新地町、相馬郡飯舘村 の12市町村

- ❖出資金❖ 142億3千万円

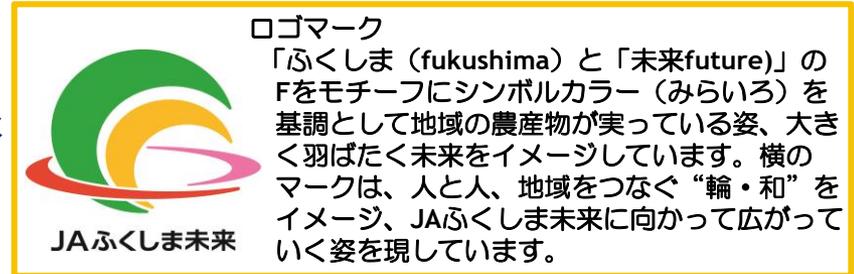
- ❖組合員❖ 94,645人 727団体  
うち正組合員 47,702人 114団体  
准組合員 46,943人 613団体

- ❖役員❖ 理事55人 監事8人

- ❖職員数❖ 1,903人  
うち正職員 1,391人 ほか512人

- ❖事業量❖ 貯金残高 7,151億円  
貸出金残高 1,474億円  
長期共済保有高 28,012億円  
販売品販売高 273億円  
購買品供給高 176億円  
(H27年実績)

- ❖事業所❖ 支店数 67 その他事業所数 54



### □連結子会社

- ◎ 新ふくしま協同サービス(株) ◎ ジェイエイ新ふくしま燃料(株) ◎ (株)ジェイエイ新ふくしまライフ
- ◎ (株)新ふくしまファーム ◎ みらいアグリサービス(株) ◎ JAみちのく安達燃料(株) ◎ JA協同施設(株)
- ◎ (株)マックスサービスそうま ◎ (株)アグリサービスそうま

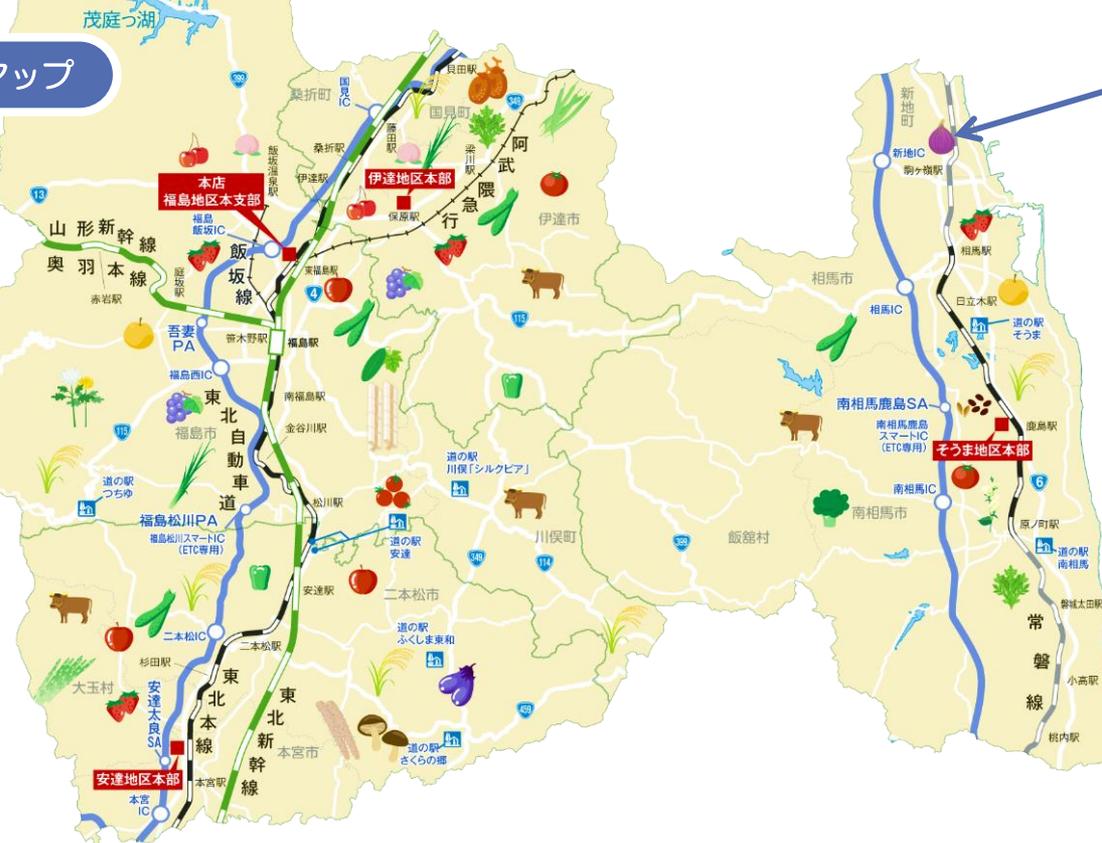
## □管内の概要

JAふくしま未来は、福島県北東に位置し、中通り北部の県北地域の3JAと浜通り北部の相双地域の1JAが合併して誕生しました。管内の面積は福島県全体の19%ほどで、県北地方は中心地域を南北に縦貫する形で阿武隈川が流れ、その流域に盆地が広がっています。地域内には温泉をはじめ、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹地帯を形成しています。海に面した相双地域は、太平洋と阿武隈高原に囲まれて気候は温暖で降雪も少なく、快適な居住環境で平坦部では水稲、山間部では畜産が盛んです。その他全域において、数多くの園芸品目が生産されています。



### ふくしま未来特産マップ

- |  |      |  |        |
|--|------|--|--------|
|  | もも   |  | チェリトマト |
|  | 米    |  | ピーマン   |
|  | きゅうり |  | さくらんぼ  |
|  | なし   |  | トマト    |
|  | 花卉   |  | 春菊     |
|  | あなぼ柿 |  | いんげん   |
|  | 肉牛   |  | ゴーヤ    |
|  | いちご  |  | ブロッコリー |
|  | りんご  |  | アスパラ   |
|  | ぶどう  |  | しいたけ   |
|  | にら   |  | とろろ芋   |
|  | なす   |  | 雑穀     |
|  | いちじく |  | 凍豆腐    |



### 主な農産物販売高 H27

① もも	51.7億円
② 米	50.0億円
③ きゅうり	32.9億円
④ なし	14.7億円
⑤ 和牛子牛	12.9億円
⑥ 生乳	10.6億円
⑦ 花卉	8.8億円
⑧ あなぼ柿	8.8億円
⑨ 肉牛	8.2億円
⑩ いちご	7.5億円
⑪ りんご	6.4億円
⑫ ぶどう	3.8億円

## 新JAの目指すもの

### (1) 基本戦略（8戦略）・合併効果の実現

#### 基本戦略（新合併JAとして目指すべき最重点方針）

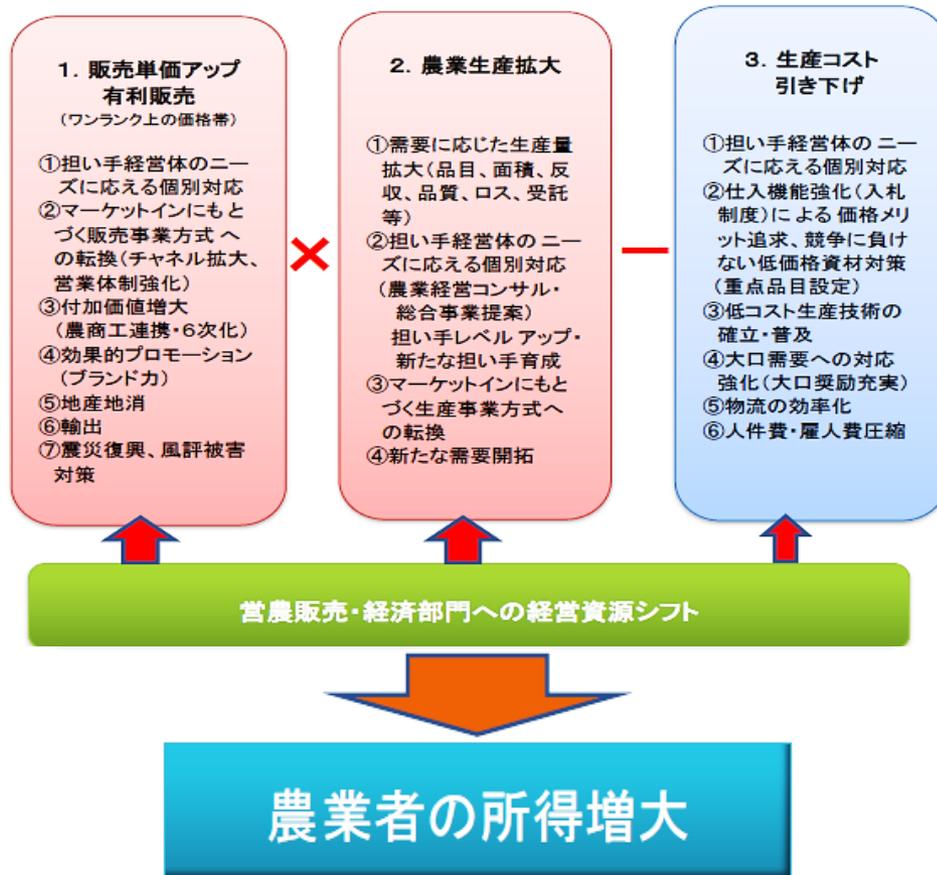
- 戦略1** JAの**基本事業は「農業」**と位置付け、農業生産力と農業所得の拡大を最大の使命とします
- 戦略2** JAの**総合力・地域密着力を発揮し**、サービスの向上やさらなる組合員メリットを追求します
- 戦略3** **地域に必要なサービスを適切に提供し**、「安全・安心」な住みよい元気な地域づくりをすすめます
- 戦略4** **効率良く経営を展開し**、収益性や生産性を向上させます
- 戦略5** **優れた経営管理（事業・機能）、人材育成の共有化**をはかり、より発展させます
- 戦略6** これまでの**継続的な取り組み**と合併JAならではの**新たな取り組み**を展開します
- 戦略7** **震災からの完全復興**を目指します  
〔震災・原発復興対策委員会・本部〕の設置
- 戦略8** 「農協改革」の検討経過をふまえ、自己改革事項を合併事業計画に反映し実践します

#### 合併効果の実現（重点具体策）

- ①担い手づくりや自然災害発生時の農業復興対策などの「地域農業振興」、住みよい元気な地域づくりや地域貢献などの「地域くらし活動」にかかる資金（目的積立金）を創設します
- ②生産対策や有利販売対策、低価格資材対策などで、農業所得の10%アップへ挑戦します（個別所得アッププランの作成）
- ③総合相談・くらし支援部署（地域支援担当者）の設置、集落担当制などで、対話重視・現場重視の体制を構築します

## 【農業所得10%アップへの挑戦】

### 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」



$$1. \text{販売単価アップ} \times 2. \text{農業生産拡大} - 3. \text{生産コスト引き下げ} = \text{農業所得拡大}$$

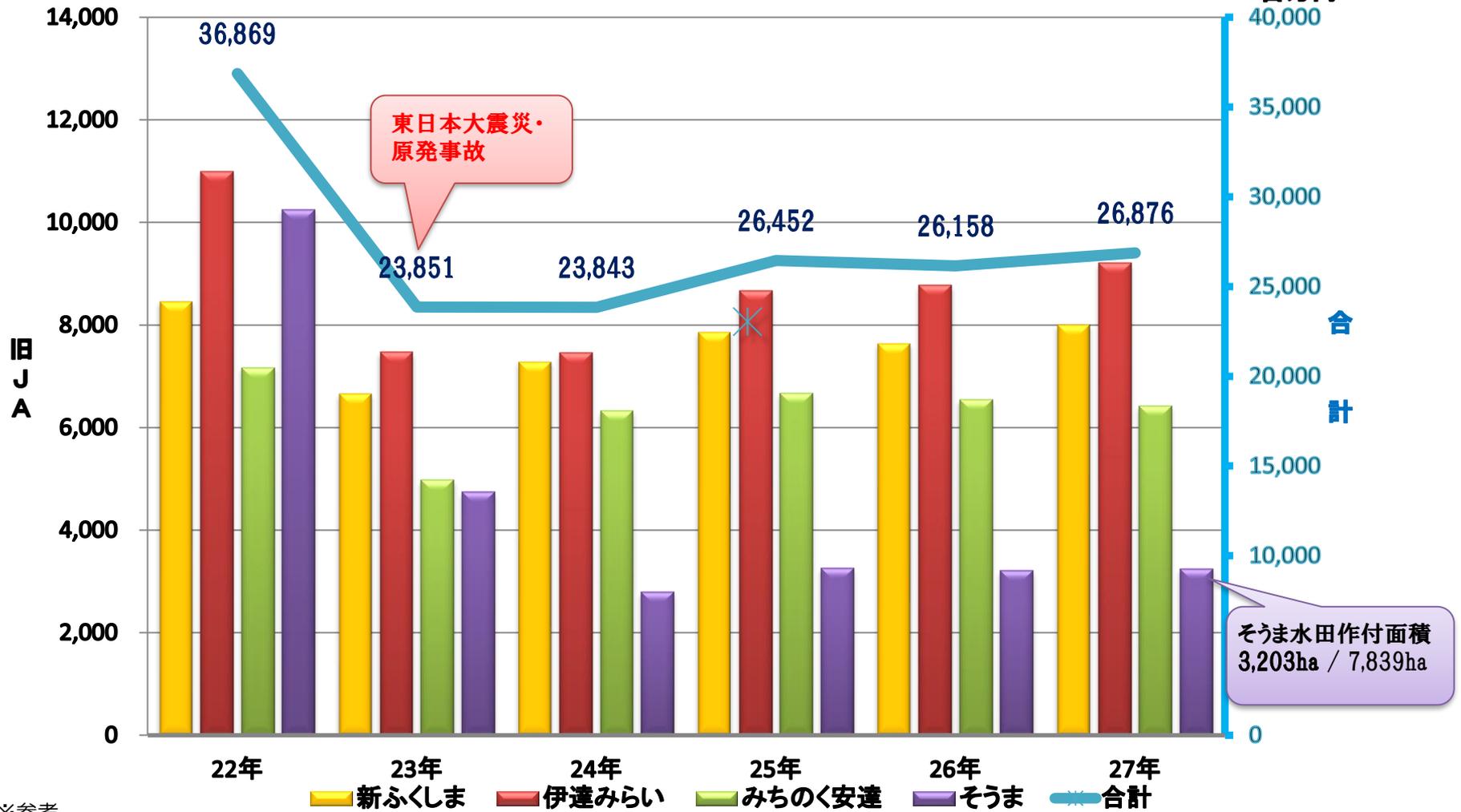
農家個別に「所得アッププラン」を提案し、実践を支援する体制を整備する。これは、TAC（全地区配置）の重要な役割とする。「所得アッププラン」を作成し、所得アップを個別に支援する。支援農家の基準等は、別途、検討する。これに行政補助事業、「地域農業振興基金」を活用し、特に大規模・中核的担い手の個別農家の所得10%アップを支援する。

さらに、JA全体で所得アップに向かう姿勢・環境を醸成するため、「表彰制度」を創設し、所得アップした農業経営者を表彰するしくみをつくる。

# 販売高推移 22年～

※加工品等は除く

百万円



※参考

米取扱数量	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産
主食用米	643,273	365,929	371,367	409,302	451,563	377,744
飼料用米他	9,366	13,581	12,608	14,685	7,640	133,504
計	652,639	379,510	383,975	423,987	459,203	511,248
概算金@ (コシ1等)	10,400	11,000	13,800	11,100	7,200	9,300

【単位：60kg/俵、円】

### Ⅲ. 震災・原発事故と闘う



# <東日本大震災 + 原発事故>

2011年 3月11日(金) 14:46 震災発生

**避難指示** 20:50 3km圏内

21:23 10km圏内

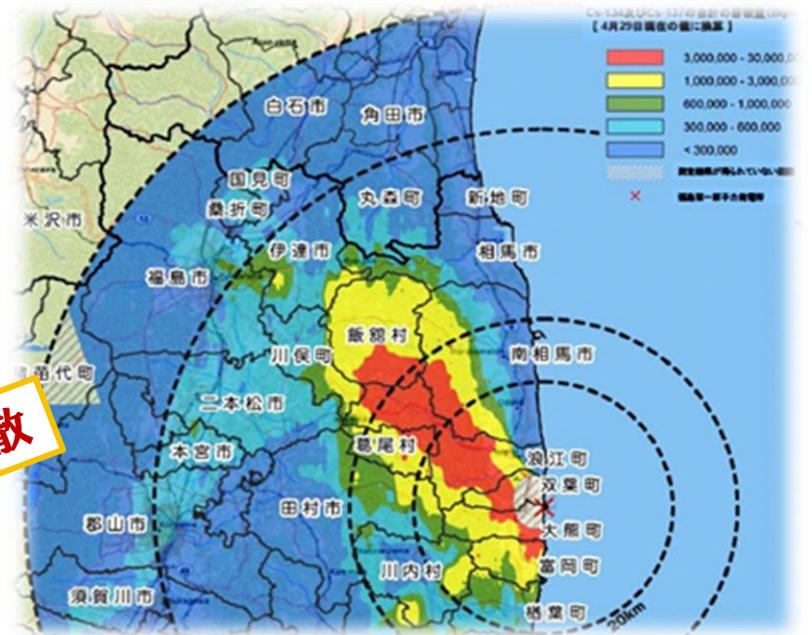


3月12日(土)

**水素爆発** 15:36 20km圏内**避難指示**



**放射能の拡散**



# 1. 今できることをやる

15:05 緊急災害対策本部設置 = 情報対策の一元化

## (1) 組合員暮らしの復旧

・暮らしの確認、被災者への炊き出し … 握ったおにぎりは10万個



## (2) 現状の発信 … 福島市民は全員防護服着用?? 心無い誹謗中傷!

JAホームページへのミッション

- ・日常の発信 → 普段と変わらない生活
- ・福島 of 自然、何気ない風景の紹介 … JAから元気を!!

## (3) 風評被害払拭に向けた取組

- ・青果物放射能測定結果の迅速な配信 → “良い情報” “悪い情報”  
～現場からの反発～ 暫定規制値内でも更なる風評被害の恐れ…?

- 全ての結果を公表することにより安全性のアピール(万全な検査態勢)
- 県の検査結果公表HPへのリンクからJA独自検査結果の公表

## 2. トップの決断

『みなさんは心配しないで、作物作りに専念して下さい・・・』

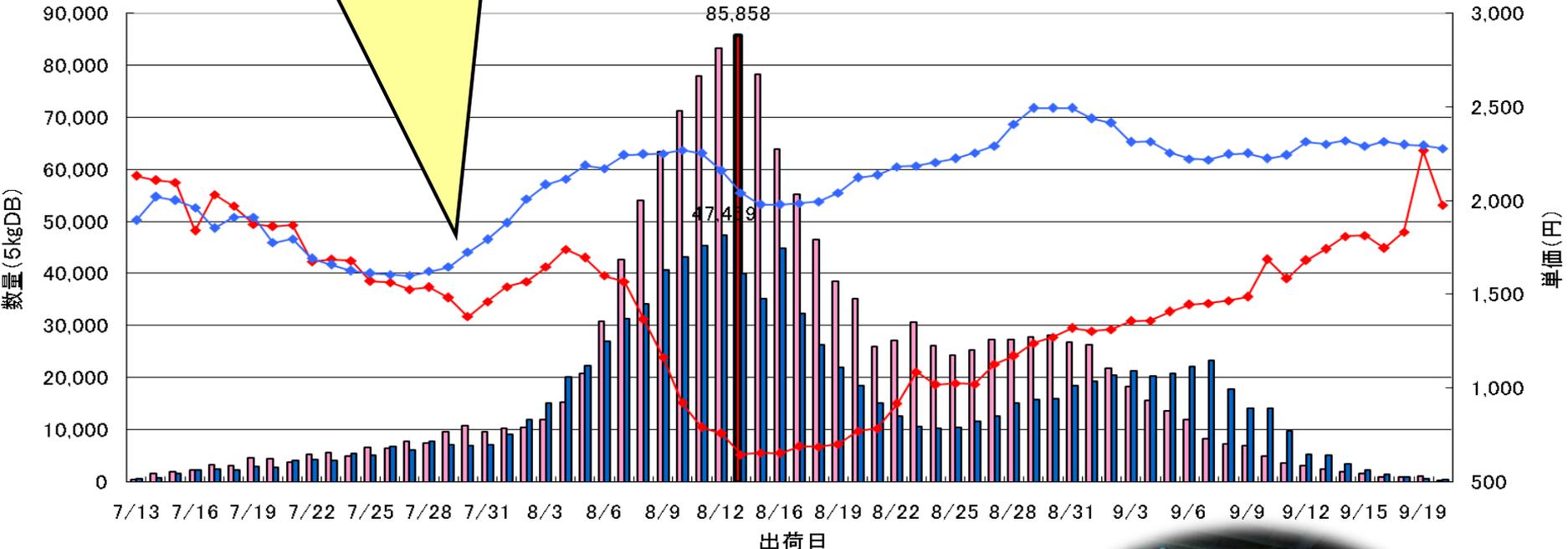


ラジオで呼びかける吾妻組合長(当時)

# 3. 重くのしかかる風評被害 もも出荷推移



8/5稲わらと牛肉問題で・・・



“近年になく良い出来映えの桃”



売れない桃に涙する果樹農家



崩壊する!?!「果物王国福島ブランド」



# 2012年打開へSPLの発足

## ・女子職員で組織した農産物販売員



※ 27年度 → 「実際に作る場所に挑戦したい・・・！」

〈田んぼプロジェクト〉発信!!

「河川ランキング」4年連続清流日本一受賞の「荒川」の清流で育てた  
ブランド米「吾妻の輝き」



# 4. 震災が齎した異業種交流と商品開発

- (1) 風評被害払拭に協同の力・・・JAグループ、全国の生協からの支援協力
- (2) 各種団体企業との連携による販売促進活動の展開・・・支援から始縁
- (3) 6次化商品の開発



コープ福島とコープおおいたと連携しての販促



新潟県JA北魚沼「大農業祭」での販促



2012 日本農業新聞  
一村逸品大賞受賞！

**JA新ふくしま**  
**オリジナル商品のご案内**  
農産物直売所 各店で取り扱っております。

アイスクリーム

ラ・フランス缶詰

揚げせんべい

**福島の美味しい果物で作りました!!**

農の空

見上げる空は限りなく美しい  
その軽やかさ巨峰ワイン

農の風

スパークリング

農の風

吹きぬげる新しい風  
喉ごしのさわめき 林檎のお酒

桃の涙

たわなに実った桃は  
甘く香りマイルになりました

JA新ふくしまの米  
**吾妻の輝き**

もも日和

りんご日和

純米吟醸酒  
**『おらが純米』**

水質日本一の荒川の水で作ったお米  
**吾妻の輝き コシヒカリ**  
**SPL\***  
新ふくしまプレゼンレディ

**10月31日から 販売開始** 数量限定 無くなり次第終了

農産物直売所こころ矢野目店の特設ブースで販売!

- ・田植えから作業まで
- ・天日干しで仕上げました
- ・日本一の水質
- ・「荒川の水」で作りました
- ・風味計でタンパク質4.4以下です

2kg袋(精米) **1,500円**

SPL\*米の特長

SPL\* (新ふくしまプレゼンレディ)とは...  
JA新ふくしまの女性職員による農産物販売の名称。  
農協の専任から活動中。全国各県の農協と連携して農産物の販路や販売を行い、消費拡大や美味しさを広げようとしています。

**JA新ふくしま**

## 5. 歴史の継承者農民魂(除染作業)

○果樹樹体除染 延べ5万人動員 樹園地2,408ha



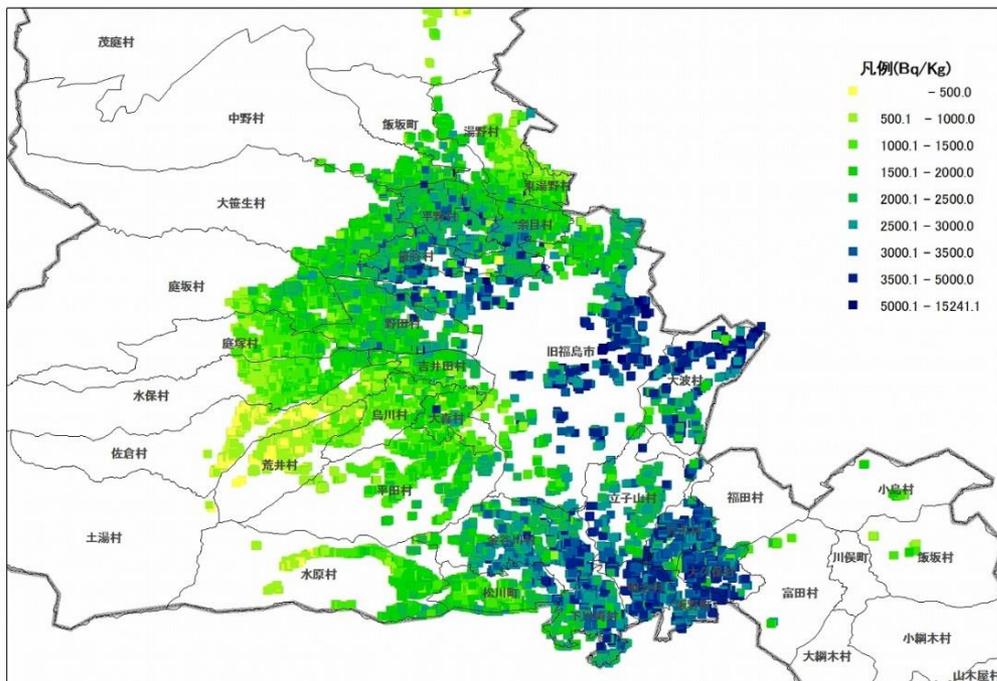
○水田除染

総面積2,397ha

ゼオライト200kg、ケイ酸カリ20kg、塩化カリ20kg/10a



## 6. 土壤汚染マップ作り(通称 どじょ・スク )



	調査筆数	計測ポイント
水田	24,480筆	63,677P
果樹園	10,158筆	27,308P
大豆畑	566筆	1,465P
合計	35,204筆	92,029P



ロシアATOMTEX社製測定器



福島大学・県生協連・全国生協ボランティア  
のべ361人の協力により全水田・果樹園調査へ

## 7. 安全・安心のため・・・検査・・・が回復しない福島ブランド

### ○農産物放射性物質検査体制

(野菜・果物等は、全品目品種調査)

・矢野目モニタリングセンター・・・46台、スタッフ10名

→約 3万件/年



・米全袋の検査 →約 33万袋/年

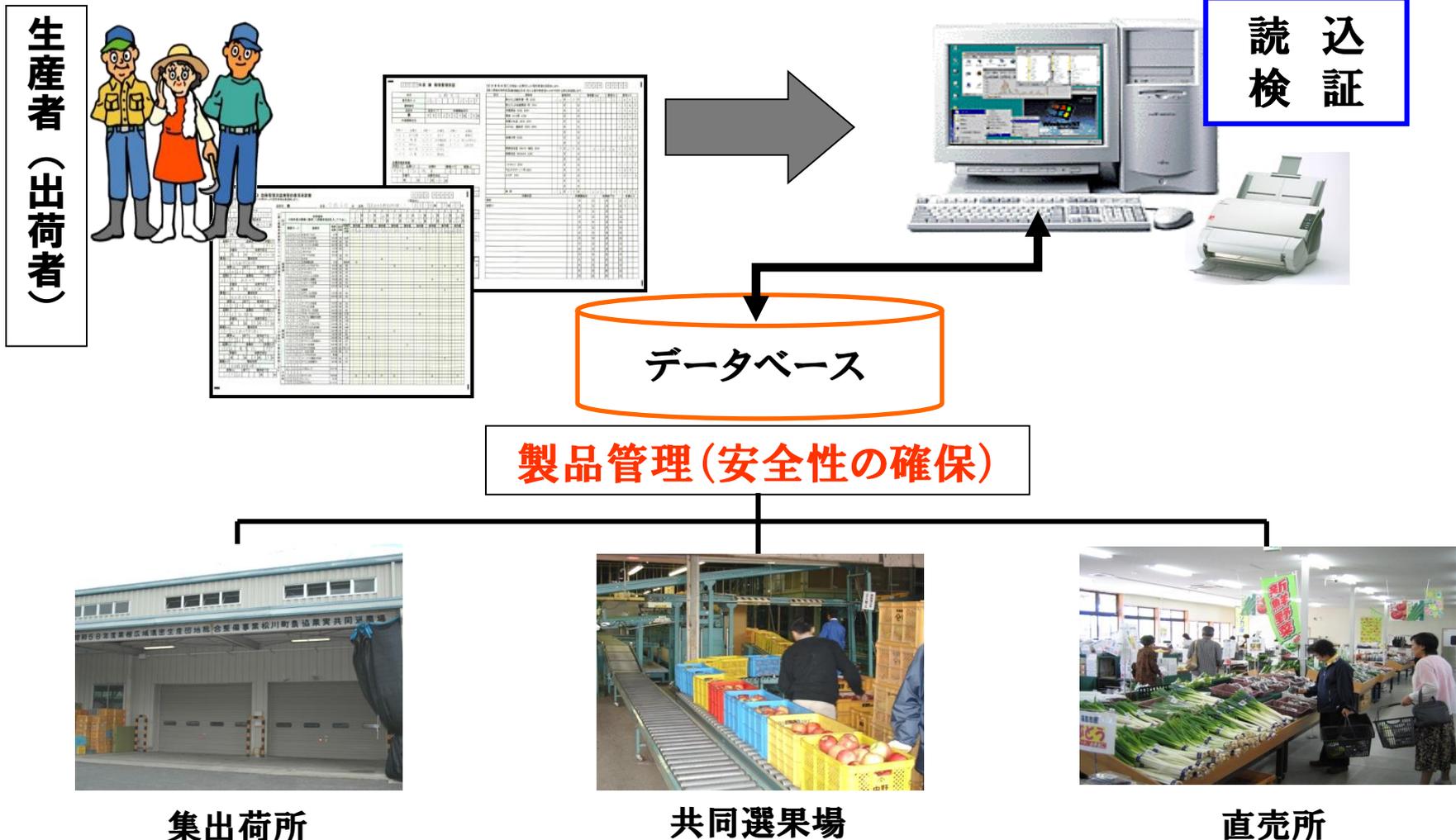


# ※ トレーサビリティシステム(平成18年5月稼働)

・出荷物の全品目検証

農産物直売所含 延べ3,901名  
(品目数190、品種数889)

25年度206,136枚実施

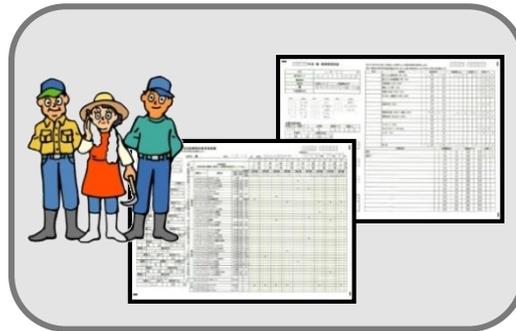


# 安全安心な農産物の供給

土壌調査



トレーサビリティ



放射能モニタリング



出荷物の全品目検証

データベース

製品管理 (安全性の確保)

検証システムは、共選場の荷受と直売所バーコード発行機が連動

共同選果場



直売所



## IV. 除染対策の効果

### 1. 水田除染(米全袋検査実態)

		測定下限値未満	25～50Bq	51～75Bq	76～100Bq	100Bq超	計
平成24年	検査数量 (袋)	335,735	7,957	628	237	46	344,603
	割合	97.43%	2.31%	0.18%	0.07%	0.01%	
平成25年	検査数量 (袋)	358,987	2,850	29	3	1	361,870
	割合	99.20%	0.79%	0.01%	0.001%	0.0003%	
平成26年	検査数量 (袋)	367,596	963	3	0	2	368,564
	割合	99.74%	0.26%	0.001%	0.00%	0.001%	
平成27年	検査数量 (袋)	344,488	19	0	0	0	344,507
	割合	99.99%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	

## 2. 果樹野菜等除染(全品目全品種検査例実態)

### 放射性物質検査による推移

(もも)	H24	H25	H26	H27
測定下限値未満	99.36%	100.00%	100.00%	100.00%
25～50Bq	0.64%	0.00%	0.00%	0.00%

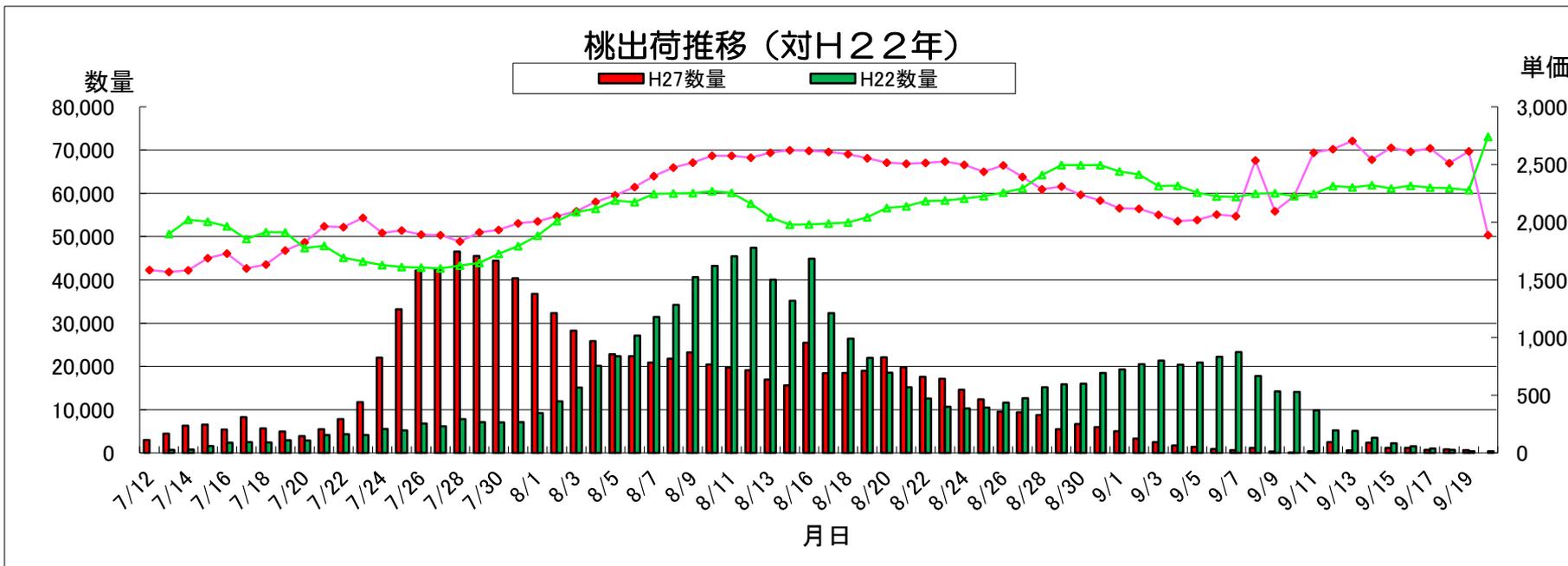
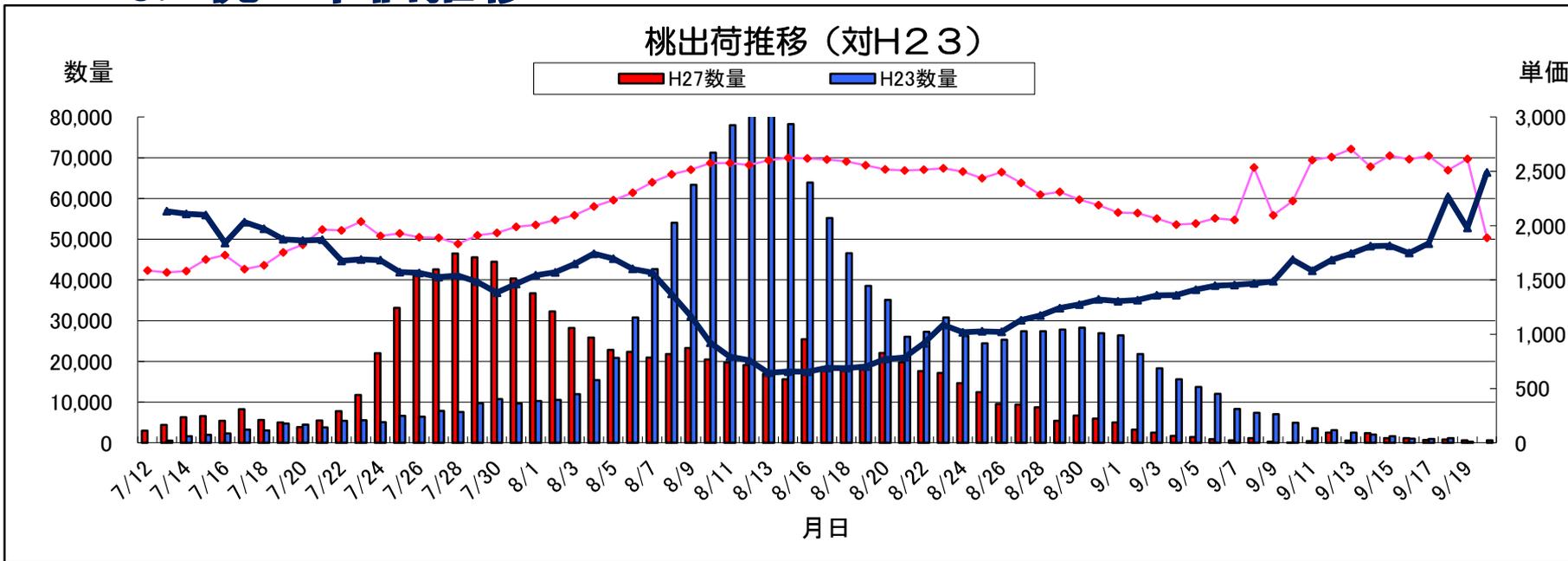
(なし)	H24	H25	H26	H27
測定下限値未満	99.73%	100.00%	100.00%	100.00%
25～50Bq	0.27%	0.00%	0.00%	0.00%

(リンゴ)	H24	H25	H26	H27
測定下限値未満	98.88%	100.00%	100.00%	100.00%
25～50Bq	1.09%	0.00%	0.00%	0.00%
51～75Bq	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%

(きゅうり)	H24	H25	H26	H27
測定下限値未満	99.61%	100.00%	100.00%	100.00%
25～50Bq	0.39%	0.00%	0.00%	0.00%

トマト・ミニトマト	H24	H25	H26	H27
測定下限値未満	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

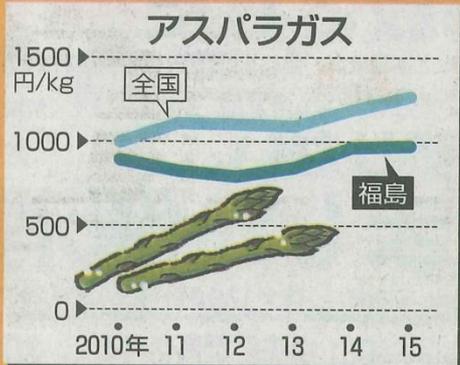
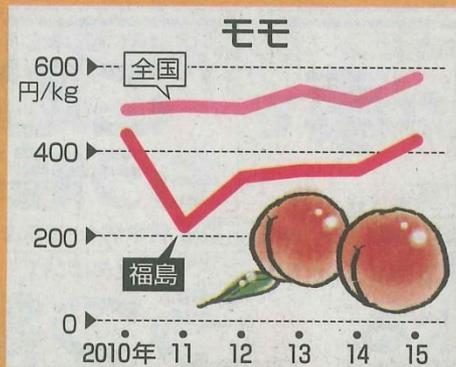
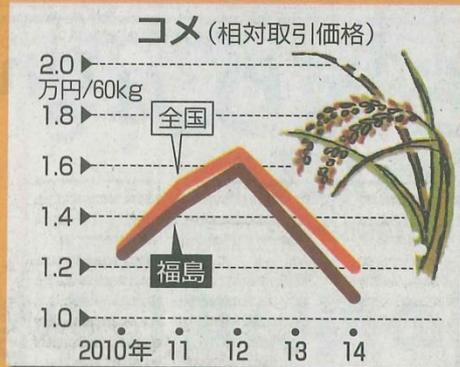
# 3. 桃の単価推移



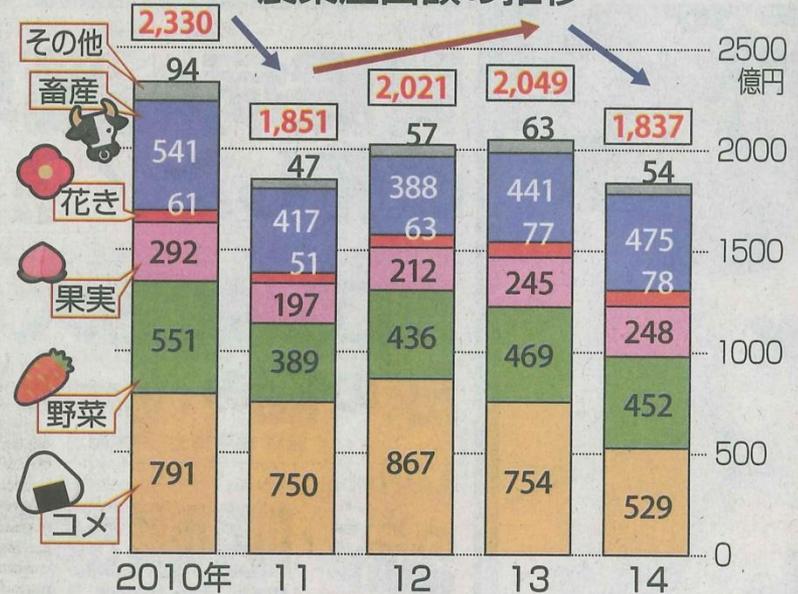
# V. いまだに残る風評被害

## 1. 全国との比較①

主な農産物価格の推移



農業産出額の推移



項目ごとの四捨五入により年計と年の各項目の総和は一致しない。  
 コメについて、2012年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、14年は全国的に米価が大きく下落し、本県のコメの産出額も大幅に減少した。  
 【出典】農林水産省 生産農業所得統計、生産林業所得統計報告書、漁業生産額より作成

福島県農産物は、買い叩かれ産地と化す。

流通企業の倫理観の着実な改善向上。

# 1. 全国との比較②

単価：円/kg

## 桃の単価比較状況表



全国	428	423	482	406	455	478	468	527
福島	358	380	439	222	340	356	358	430
山梨	474	455	507	526	521	572	529	598
長野	338	342	438	364	411	539	429	515

## 2. 進まぬ復興の現状

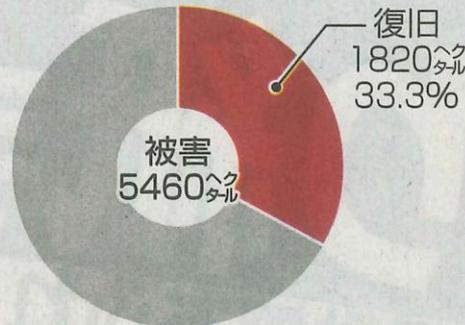
### 農地の除染

2015年12月現在



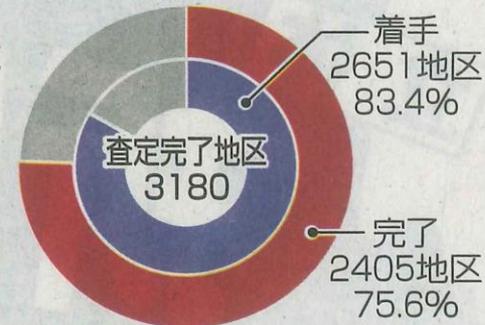
### 営農再開可能面積

15年7月現在



### 農地・農業用施設などの復旧工事

15年12月現在



## 農地復旧いまだ3割

東日本大震災の津波で本県沿岸部の農地は、原発事故の避難区域を含む約5460畝が被災した。農林水産省の調べでは、2015（平成27）年7月現在、復旧したのは33.3%の1820畝にとどまる。

県によると津波被災地の農地復

旧は、農地をまとめる大区画化などと合わせて進められており、避難指示解除区域の農地再生も含め、本格化はこれからという。

また農地除染の進捗は、計画面積3万4225畝に対し、80%の2万7394畝（15年12月現在）となっている。震災で被災した約1万7200経営体のうち、約1万500経営体（14年3月現在）が営農を再開（一部再開を含む）した。



# 様々な情報発信と信頼の回復





笑顔あふれる豊かな“ふくしま”へ



## VI. “思い・願い” (JA綱領の実現へ)

### 大切にしていることは「農」です!!

JAは農業協同組合ですから、いちばん大切にしているのは、いうまでもなく農業のことです。農業の生産力を高め、農業所得を向上させる、地域の農業を発展させることは、JAの重要な役割です。

ただし、JAは農業のことを狭く限定してとらえてはいません。広い意味での「農」、つまり、農地、農村のくらしや環境、さらには食料(食べ物)を守ることを含めて考えています。

JAが農業と地域社会に根ざした組織として、農業はもちろん、食や緑(自然)、さらには、環境、文化、福祉をとおして、地域社会とともに歩む存在であることです。そして、大切にしている願いとは、「わたしたちにとってかけがえのない農を守り、はぐくみ、農業や食の大切さを一人でも多くの人に知ってもらうこと。このことをとおして、住みよい地域社会を築くこと」なのです。

こうした“思い・願い”を実現していくために、広い意味での農にかかわって、一人ひとりの積み重ねから、さまざまなことに取り組んでいます。これを「事業」と呼び、わたしたちは事業をとおして「営農とくらし」を応援しています。

#### JA綱領 (わたしたちJAがめざすもの)

わたしたちは、

- 1.地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 1.環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 1.JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 1.自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に運営し信頼を高めよう。
- 1.協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。